

密着コアR施工手順書

この施工手順書は挿入機2型で密着コアR（以下、密着コアと言う）を施工するための手順書です。施工する前に良く読んで内容を理解した上で作業を進めて下さい。

安全に関する注意

- ・安全ルール（作業場所における諸規定）を遵守して下さい。
- ・保護具（軍手、安全靴、ヘルメット等）を着用して下さい。
- ・本製品を改造して使用しないで下さい。

機械の構成

表 1

部番	部品名			
1	本体			
2	挿入ハンドル			
3	アダプタ (20・25・30・40・50mm)			
4	挿入棒密着コア用ユニット (20・25・30・40・50mm) 密着用ヘッド+密着用ビス			
5	片ロスパナ 4本			
	サイズ	14	19	23
	数量 (本)	2	1	1
6	マグネットクリーナ			
7	モータレンチ			

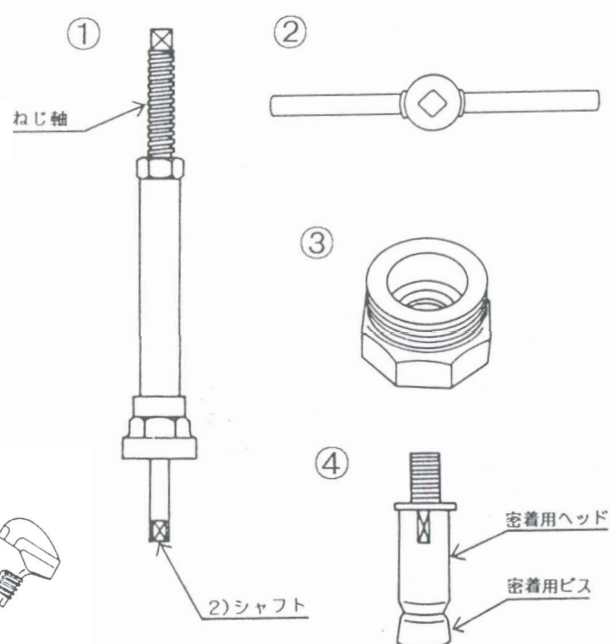


図 1

仕様

表 2

適用管種 (施工可能な配水管)	ダクタイル鋳鉄管エポキシ樹脂粉体ライニング (以下、粉体管) ダクタイル鋳鉄管モルタルライニング (以下、モルタル管)				
施工可能な呼び径	20	25	30	40	50
施工可能な穿孔用錐径 (mm)	18.1	23.1	28.1	38.1	47.1
施工可能な穿孔後の孔径 (mm)	18.1~18.3	23.1~23.3	28.1~28.3	38.1~38.3	47.1~47.3
適用サドル付分水栓	JWWA B 117 規格のサドル付分水栓 前澤オリジナルサドル付分水栓 ※その他のサドル付分水栓については、各営業所へお問い合わせ下さい				



前澤給装工業株式会社

施工の際の注意事項

- ・アダプタ、本体の取り付けは確実に行って下さい。
- ・切り粉の排除を確実に行って下さい。特に、空管を穿孔する際は、穿孔後に付属のマグネットクリーナで穿孔穴付近と分水栓内の切り粉を十分に取り除いて下さい。
- ・施工中以外は、本体のねじ軸を必ず左一杯に回しておいて下さい。

施工手順

1. 工具の準備

施工の前にパイプレンチ、マイナスドライバーを準備します。密着用ヘッドの取り付け、取り外しに使用する片口スパナのサイズは表3を参照して下さい。

表3 使用する片口スパナのサイズ

施工呼び径	20	25	30	40	50
本体シャフト側	14	14	14	14	14
密着用ヘッド側	14	19	23	19	19

2. 器具の選定

サドル付分水栓の取り出し呼び径と同じ呼び径のアダプタ、密着コア、挿入棒密着コア用ユニットを選ぶ。

3. 取り付け前の確認

- ①アダプタ、本体にガスケットが付いていることを確認する。
- ②本体ねじ軸を右に回転させ、ねじの状態を確認する。
ねじの滑りが悪い場合は次の作業を行い、滑りを良くする。
本体ねじ軸の付着物（砂、石等）を取り除く。
本体の注油場所に油（機械油可）を注す。（図2）
※ねじの滑りが悪いまま作業すると施工不良をおこす場合があります。
- ③密着コアが変形していないことを確認する。

4. 取り付け

- ①密着用ヘッドを本体のシャフトにねじ込み、図3のようにしっかり締め付ける。
- ②密着用ヘッドに密着コアを差し込む。
- ③密着用ヘッドに密着用ビスを手でねじ込んだ後、片口スパナで密着用ヘッドを押さえ、密着用ビスの溝にマイナスドライバーをかけ、締め付ける。（図4）
- ④密着コアを手で回し、スムーズに回転することを確認する。
- ⑤ヘッドとコアの間に異物が入っていないか確認する。
異物があった場合は清掃を行う。

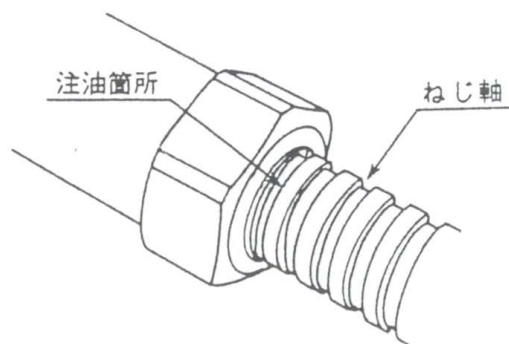


図2

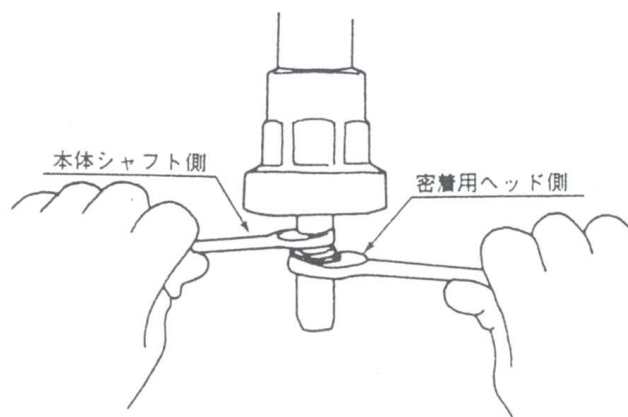


図3

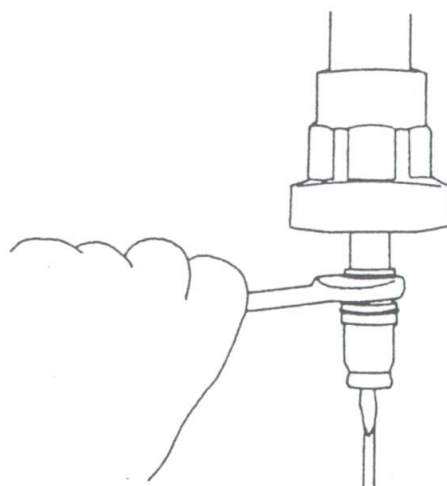


図4

- ⑥密着コアと挿入棒密着コア用ユニットの接続状態を図 5 に示す。

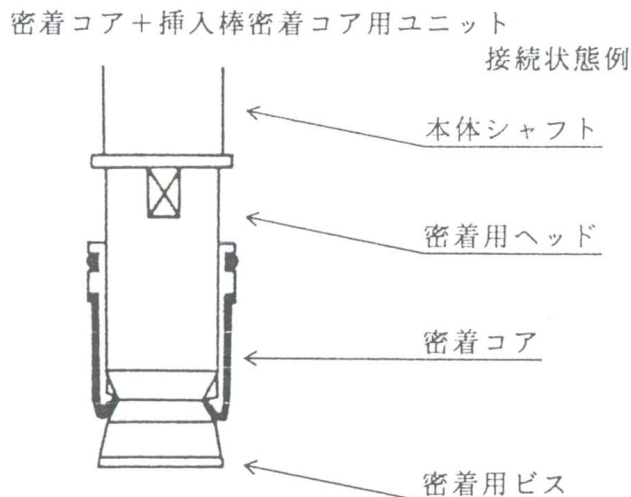


図 5

- ⑦本体ねじ軸を手で止まるまで左に回す。
⑧サドル付分水栓の上側取り出し口にアダプタをパイプレン
チでしっかり締め付ける。(図 6)
⑨アダプタに本体をパイプレンチでしっかり締め付ける。
⑩各部品の接続状態を確認する。(図 7)

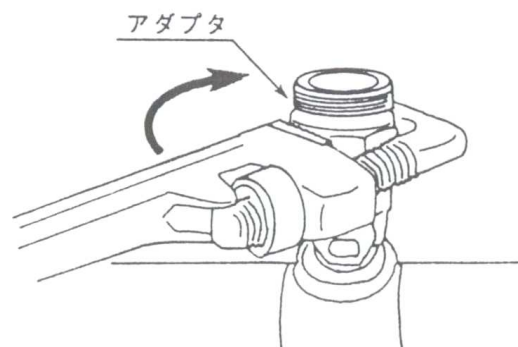


図 6

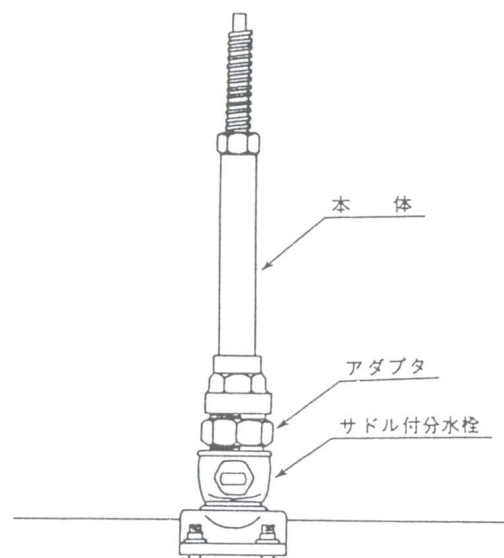


図 7

5. 挿着作業

- ①サドル付分水栓の開閉用栓棒を、工具でゆっくりと開方向
（「O」方向）に回し、全開にする。(図 8)
※サドル付分水栓が全開状態になっていないと、密着コ
アがボールに当たってしまう恐れがあるため、必ず全開
にし、栓棒は急激に回したり無理にこじ開けたりしないよう
に注意して下さい。
②本体ねじ軸を手で止まるまでゆっくりと右にカー杯回す。
③本体ねじ軸の上部に挿入ハンドルを取付ける。
④挿入ハンドルを持つ。
⑤ねじ軸を挿入ハンドルで右に回し挿着作業を開始する。(図 9)
⑥挿着作業中は挿入ハンドルの感触は以下ようになります。

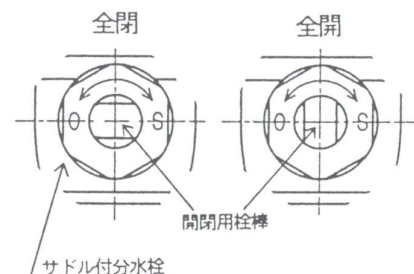


図 8

- 1) 重い (1 回目)
密着コアの先端を拡げている (図 10)
2) 軽い (移動中)
3) 重い (2 回目)
密着コア上部に密着用ヘッドのツバが
当たり作業完了 (図 11)
※2 回目に重くなった時は、それ以上
挿入ハンドルを右に回さないで下さい。

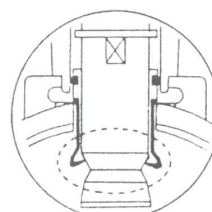


図 10

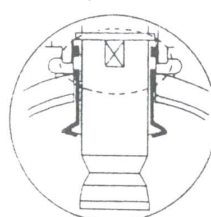


図 11

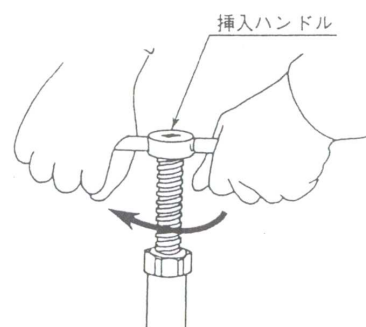


図 9

- ⑦ ⑥の工程を確認した後、挿入ハンドルを左いっぱいに戻して挿着作業完了です。(戻し始めは
少し重くなります)

6. 取り外し

- ①サドル付分水栓の開閉用栓棒を、工具でゆっくりと「S」方向に回し全閉にする。(図 8)
- ②本体ねじ軸の上部から挿入ハンドルを外す。
- ③アダプタから本体をパイプレンチで外す。(図 12)
- ④サドル付分水栓からアダプタをパイプレンチで外す。(図 13)
- ⑤密着用ヘッドを片口スパナで押さえ、密着用ビスにマインスドライバーをかけて緩める。
- ⑥密着用ヘッドを本体のシャフトから外す。(図 14)
- ⑦本体ねじ軸を手で止まるまで左に回す。

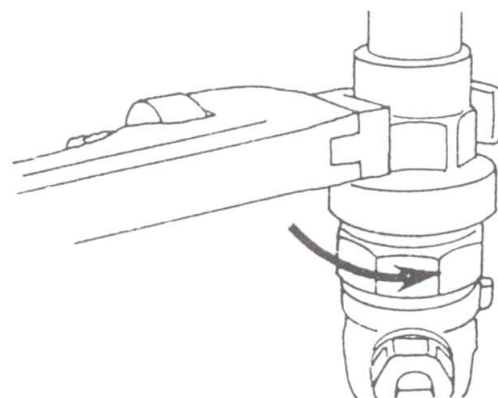


図 12

7. 掃除・保管

本体、アダプタ、挿入棒密着コアユニット、その他の部品を良く拭き、水分・砂・石等を取り除きケース内の元の位置に収納する。

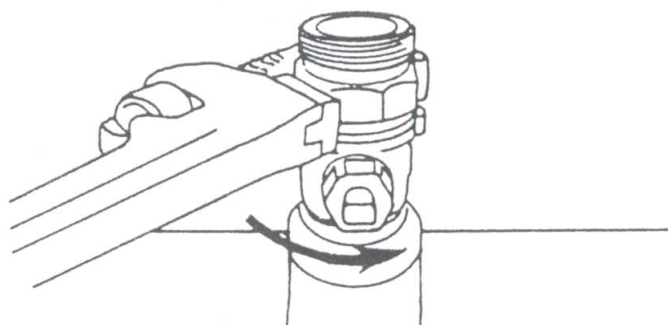


図 13

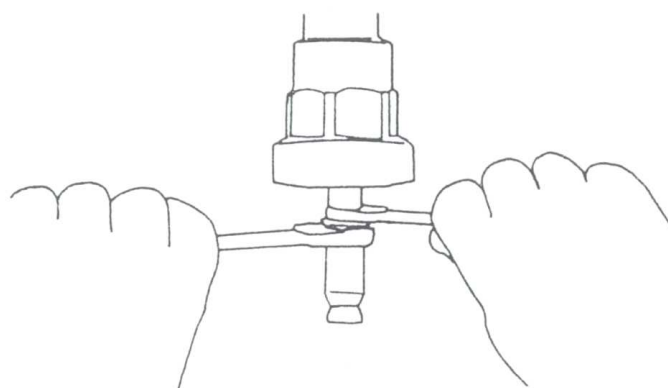


図 14



前澤給装工業株式会社

本社 〒152-8510 東京都目黒区鷹番2丁目14番4号 (03)3716-1511(代表)
<http://www.qso.co.jp/>

※本施工手順書記載の仕様及び寸法は、予告なく改訂する場合があります。

W1001 2018.3 (5版)